

令和6年度第3回新見市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	令和6年12月2日(月) 13:30~14:50
開催場所	新見市役所 南庁舎 1階会議室1C
出席した委員 (12名)	<p>新見公立大学健康科学部健康保育学科 准教授 新見市主任児童委員連絡部会 部会長 新見市議会文教福祉常任委員会 委員長 新見市小学校長会 会長 新見市保育協議会 代表 新見市放課後児童クラブ 代表 新見市認定こども園PTA 代表 新見市幼児クラブ 代表 にいみ子育てカレッジ 利用者代表 新見商工会議所 専務理事 新見市教育委員会教育部 部長 新見市福祉部 健康支援担当部長</p>
欠席した委員 (1名)	阿哲商工会 会長
事務局 (8名)	<p>福祉部健康医療課 課長 福祉課 参与兼課長 子育て支援課 次長兼課長 課長補佐 主任 教育部学校教育課 課長 (株)ぎょうせい 2名</p>

議事内容	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議成立の確認 ■ 1 開会 ■ 2 会長挨拶
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3 報告 ・ 公立保育所・認定こども園の適正規模・適正配置基準について報告 ・ 要綱に従って会長に議事進行をお願いする。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 議事①第3期子ども・子育て支援事業計画の策定について ・ 議事①について、事務局は説明をお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3期新見市子ども・子育て支援事業計画の概要及び施策体系について説明
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 議事②第3期事業計画の素案について ・ 議事②について、事務局は説明をお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3期新見市子ども・子育て支援事業計画素案について説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病児・病後児保育の現状を教えてください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここ5年の利用者数については、令和元年87名、2年45名、3年71名、4年66名、5年69名となっています。 ・ 実施している施設は、たんぼぼ保育園、にこにこ保育園、さくらんぼ保育園の3園で、全て私立です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関との連携はどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院を受診し、医師の診断を基に利用を申請することになっています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3点質問したい。 ・ 放課後児童クラブ（以下「クラブ」）と放課後子ども教室の違いを知りたい。 ・ 素案64ページの家庭看護力の向上の取組内容は、どのような形で周知するのか。 ・ 同71ページのひとり親家庭に対する経済的支援の推進の取組内容に「離婚を検討している人」とあるが、どのようにして把握するのか。個人情報などがあるので、疑問に思った。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブは、子どもたちが学校から帰る時間帯に、保護者が仕事等で家庭にいない小学生を対象に、子どもの居場所として遊びや生活の場を提供するものです。放課後子ども教室は、家に帰って子どもの面倒をみる家族の有無を問わず、全ての子どもたちを対象に、小学校の空き教室や地域の公民館などを利用して、放課後や週末に子どもの交流活動やボランティア活動、体験活動などの機会を提供することを目的としています。 ・家庭看護力の向上については、年4回、乳幼児健診時に新見公立大学の副学長に来ていただき、急病時の対応などについての話をしてもらっています。回数を増やしたいという意見があるので、まだ検討段階ですが、今後も続けていきたいと考えています。健診に来た保護者に、副学長が話す機会があることを知らせたり、普段困ったことがあれば相談してくださいと話したり「にいみ24時間安全安心相談ダイヤル」の話をしています。 ・「離婚を検討している人」については、例えば児童扶養手当の相談時に、経済的な不安を抱え「今、離婚したら、どのくらいもらえるか」という話をした人に対して、制度の説明をしたりします。もちろん、ひとり親に対しても、計画に記載していることを案内しています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室は、どのような取組や実施状況があったのか。思誠小学校区でクラブを運営しているが、公民館での催しはあるものの、校内での教室があまりない。一体的な実施の話は聞いているが、ほかの地域がどうなっているのか、状況が分かるなら教えてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・所管が生涯学習課なので、はっきりとしたことは言えませんが、新見市では、一体的な実施はあまり進んでいないと思います。放課後子ども教室は、公民館で実施されています。クラブと放課後子ども教室のもともとの成り立ちや事業の性格が違うと思うので、一体的な実施を進めるのが難しいと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな取組が考えられており、形になっていけばよいと思った。 ・素案67ページから学校教育の充実について記載がある。小規模校が多く、職員も限られている中で、日々学力向上などを行っているが、今、一番大きな問題となっているのは、いじめや不登校だと感じている。学校だけで考えるのは難しく、特に不登校については、学校に来ていない子どもをどうしていくかが大きな問題だ。学校任せになるのではなく、こういった会議の場で、何かしらもう少し踏み込んだ対応ができるような組織があるといいなと思っている。例えば子育て支援課がもう少し絡んでもらえると有り難い面もあり、学校がうまく踏み込んでいけないところに行政などの組織があればいいと感じている。 ・69ページの思春期の心の問題に対する相談体制の充実の中に「ぎゅ〜っとノートを所持している児童・生徒の保護者を対象に」と記載されているが、ノートを所持しているかどうか、学校が把握できていない。もう少し学校と関係機関との連携を取っていかないといけないと感じた。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・素案51ページに、子育てしやすい社会にするために必要だと思う支援についての2番目に「働きながら子育てできる環境づくりを進めてほしい」というのがあり、就学前児童の保護者では56.3パーセントだ。その割合の人が、そういう環境になっていないと思われるのだと思う。その環境をつくろうと思うと、働き場である企業と保育サービスの提供者両方の努力が必要なのであると思う。 ・商工団体の役割について、61ページでは、商工会議所や商工会などを通じて、周知や理解の促進を図ること、62ページでは働き方改革についても、周知や啓発が記載されている。 ・企業のヒアリングを行うと「人手不足」が一番に挙げられ、育児休業や育児の時間をなるべく出したいが、代わりの人がいない、特に資格を持つ人が抜けると仕事にならないという実情があるようだ。商工会議所では周知を行い、社会保険労務士といった専門家を利用して、就業規則の改定などにも取り組んでいるが、なかなか進みにくい。そういう現状も理解してもらい、なおかつそれに対応するための施策を打ってもらいたいと思っている。 ・働き方については、業種別の分類で、女性は医療・福祉がかなりのウエイトを占めている。女性が働いている業種に、例えばプッシュ型で周知や施策、働き方改革を支援していく取組も必要だと思った。特に医療、福祉分野は商工会議所のエリアから離れていくので、医師会などとの連携も検討したらよいと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら子育てできる環境については、あまり大きくない事業所では人手の確保が難しい、仕事を1人で担っている場合、その人が育児休業を取得すると難しいという話を聞きました。そういった部分をクリアできるような施策を考えていきたいと思っていますが、人材を行政で確保するのは難しいので、行政として、企業や事業所、経営者を何かの形で支援できないか検討していきたいと考えています。まとまったら、改めてご相談したいと思います。 ・医師会などとの連携は、確かにそうだと思います。行政だけでなく、専門知識を持つ人の力を借りながら考えていければ、より子育てしやすい環境づくりができると思うので、進めていきたいと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブは、令和6年度14か所だと思うが、素案87ページの量の見込みでは、13か所となっている。どこか減ったのか。 ・同58ページの子育て家庭への情報提供の充実に「市のホームページやSNS等を活用し、情報を発信」とあるが、今後、クラブの情報提供をどのような感じでやっていくのか教えてもらいたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ14か所のうち、1か所は通年ではなく、長期休業中の開設になっています。量の見込みの13か所は、通年開設の数なので、数が減っているわけではないと考えています。 ・情報発信については、今年度第1回の会議で「初めての子どもが利用したいと考えているとき、保護者はどこからクラブの情報を手に入れたらよいか困っている」という話がありました。各クラブに、新年度の受け入れ児童の受付などをどのように保護者に情報提供しているかや募集の情報発信について聞いたところ、クラブによって異なり、時期も様々でした。今後、代表を集めた会議で、できるだけ利用者に分かりやすい形、例えば学校教育課に一報してもらい、その後代表につなぐなど、窓口の一本化、差し支えなければ、募集開始時期をある程度そろえてもらうなど、利用者にとって利便性の高いものを検討したいと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・素案87ページに、クラブの量の見込みの数字が出ているが、1小学校区に対しての人数ではなく、新見市全体の数で出ている。例えば思誠小学校区は人数が多くて足りていないというのは、ここでは出ない。もう少し違うアンケートの取り方をすれば、クラブに入れない数が分かると思う。学校が終わってから、ほかのクラブに行く、物理的な問題からタクシーで移動しているという話を聞く。新たに開設する場合に新見市が補助するなら、管理にも入ってもらいと、偏りがなくなると思う。 ・80ページの量の見込みも、市全体の数なので、これで足りているとなると、離れた場所に預けないといけない現状が見えてこない。30～40分かけて預けに行き、それから職場に行くことや極端に数の少ない園が出て来て、やがて休園になる、そして受け入れてくれる園が少なくなり、市の中心部の人数が多くなる形になるので、考えてもらいたいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・量の見込みは、市全体でどれだけ必要かという数字になっているので、例えば保育所や認定こども園は足りているという結果になっていますが、委員が話されたように、こういった形が子育てしている保護者にとって使いやすいか、利便性を考えたいと思います。説明の中で2園休園していることも話しましたが、様々な事情や保護者のニーズを踏まえ、人数が少ないからという理由だけで休園、閉園するのではなく、総合的に考えて進めていきたいと思っています。アンケートだけでは見えてこない部分もあるので、休園になった場合は地元に出向き、地域や保護者の意見を聞きながら検討していきたいと思っています。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・思誠小学校区には4つのクラブがあり、その中の1つは個人で行っている。その人が体調を崩されたことで、利用人数を急激に減らしたため、利用できなくなった5、6名の子を自分のクラブで見ている状況だ。このままだと、新1年生が入ってきたときに受け入れ先がなく、クラブに入れない人が出てくると思っている。そういう状況を理解しているので、皆に伝えたいが、本来なら所管している新見市からアンケートを取るなどする、本当に足りないのなら、新しいクラブを作らないとどうにもならない。既存のクラブに入れ込むことはできるが、障がいのある子どもなど集団に入れない、集団では見ることができない子どももたくさんいるので、1つのクラブにたくさん入れたらよいという話ではない。今回、ほかのクラブと話し合う機会を持った。多分この話をしなければ、2月、3月頃にたくさんの方が困る可能性があるのもう少し市も音頭を取って、協議してもらいたいと思っている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・思誠小学校区には3つありますが、来年度、入れない人が出てくるのではないかという懸念があり、話し合いや調整の場を持ってくれたことは、担当者から聞いています。市内の14か所の令和5年度の利用人数をみると、小学校によって大きな差があります。最も少ないクラブで8名、最も多いクラブで30名となっています。 ・市で新しいクラブを作ったらという話がありました。現在クラブは、各小学校区の中、学校が終わって自分の足で歩いて行ける距離に設置されています。また、例えば保護者が住む地域と離れた場所に、市が新しいクラブを設置した場合、朝夕の送迎時の負担が増えます。作るのであれば、どこでどういったものにしていくかを考えないといけないと思います。 ・利用者の受け入れ以外には、各地域にその地域の子どもの受け入れるクラブがあり、支援員も地域やその子たちをよく知る人が担当しているので、保護者の安心につながるがあります。クラブでの活動も、地域の祭りへの参加や近くで川遊びといった、地域の良さを利用した活動ができていることをよいことだと思っているので、入れない子が出ないように、行政でもどういった手立てをして対処していくか考えたいと思います。現在の各小学校区にクラブがある形は、クラブの努力もあり、子どもたちが過ごせる場になっているので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・素案では3つの基本目標で文言を変更しているが、取り組みへの反映はどうなっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期計画の振り返りを行い、一つ一つ、全てについて「こういう問題点があった、その問題点に対して今後こうします」ということを各担当課に整理してもらい、それに基づいて更新しました。基本目標の文言の変更は、ほかの項目との整合性に配慮しながら提案しました。

会長	・取組内容に「幼稚園」が入っているが、削除するのか。
事務局	・新見市に幼稚園はないので、削除します。今日の会議を基に修正を行う際、併せて文言も再度確認し、そぐわないものは削除や修正をして、お示ししたいと思います。
委員	・認定こども園の中に、教育認定の子どもがいる。
事務局	・教育認定の子どもはいるが、幼稚園という施設はないので削除します。
委員	・クラブに入れない子どもという問題が出ているが、児童館を設置するといった考えは、新見市としてないか。
事務局	・現状では、新たに児童館を作るということは考えていません。児童館に限らず、どういったものが子育てにとってよいか、様々な人の意見を聞きながら考える必要はあると考えています。
会長（進行）	■議事②その他について、何かあれば発言願いたい。 ・なければ、以上で議事を終了する。
副会長	・挨拶
事務局	■ 5 閉会

以上